

平成 17 年度 教師海外研修（派遣国：ベトナム）実践報告書

千葉県船橋市立若松小学校
柳杭田 明美

タイトル：Meet the World ～シンチャオ！から広がる世界の食文化～

実践教科：総合的な学習の時間（時間数：13 時間）

対象生徒・学年：小学校 3 年生

対象人数：42 名

カリキュラム案

(1)実践の目的

本校では、健康教育を主に研究を進めており、特に食育に力を入れている。今回、ベトナムを訪問して集めた写真や資料などを子どもたちに提示することを手始めに、ベトナムをはじめとした世界の食文化を調べる。

児童は、社会科の工場の学習で、日本で普段口にしている食べ物が実は海外から材料を輸入して作られていることを知り、外国の食べ物に興味を持つようになっていく。ベトナムという子どもたちにとってはほとんどなじみのない国の紹介から生まれる興味と、材料への興味という2つの観点から、日本と外国の似ているところや違うところを見つけることで、異文化への理解と自国への愛着を育てたいと考えた。

(2)授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1 時限目 ベトナムを知る	<ul style="list-style-type: none">・地図の中でベトナムを探す・ベトナムクイズで、ベトナムの人々の暮らしに興味を持つ。	<ul style="list-style-type: none">・世界地図・ベトナムクイズ（パワーポイント）
2 時限目 ベトナムの暮らしを詳しく見よう	<ul style="list-style-type: none">・ベトナムの暮らしをスライドで見る。・食べ物など、発見したことや、予想したことを発表する。	<ul style="list-style-type: none">・ベトナムで収集した写真、日用雑貨、書籍など・ワークシート
3～6 時限目 ベトナムをはじめとした、世界の食べ物を調べよう	<ul style="list-style-type: none">・テーマごとのグループを決め、それぞれに世界の食べ物について調べる・食べ物の特徴、主食、デザート、いろいろなおかず、麺類、飲み物、米料理	<ul style="list-style-type: none">・ガイドブックなどの書籍・インターネット資料
7～8 時限目 「世界の食文化」発表会	<ul style="list-style-type: none">・各グループで調べたことを、全体で発表する。・発表内容について質問しあい、さらに深めるきっかけとする。	<ul style="list-style-type: none">・各児童の資料
9～12 時限目 国際的なパーティーをしよう	<ul style="list-style-type: none">・身近な外国出身の人（保護者・ゲストティーチャー・ALT）を招いて話を聞く計画を立てる。・お迎えの準備をする。（国旗・簡単なあいさつ・地図・名札）	<ul style="list-style-type: none">・国旗（インドネシア、中国、韓国、インド）・世界地図・ワークシート・料理レシピ・食材・各国の衣装・各国の写真
	<ul style="list-style-type: none">・保護者や地域に住む外国出身の方をゲストに招いて、国の紹介や、外国からみた日本についてお話を伺う。	
	<ul style="list-style-type: none">・ゲストティーチャーの国の料理を教わり、みんなで作って食べる。	
13 時限目 活動を振り返って	<ul style="list-style-type: none">・ゲストティーチャーにお礼の手紙を書く。・活動全体を振り返り、学習を通しての自分の変化や今後の課題への意欲を確認する。	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート

カリキュラムの詳細

<ベトナムを知る>

夏休み前に「ベトナムに行ってくるよ～」と、事前の授業をしてから、子どもたちの中でベトナムという国は、少しだけ身近な場所になっているようである。パワーポイントを使ってのベトナムクイズでは、事前授業で行った簡単なベトナム語の会話をすっかり覚えている児童もいた。

<ベトナムの暮らしをくわしく知ろう>

私が今回の研修に参加させていただいて触れ合った人々や、町の暮らしの様子を、スライドで紹介した。私たち大人にとっては、「ついこの間まで日本もこうだった」というような懐かしく思える風景が、子どもたちにとっては新鮮で、遠い世界の話のように見えていることが意外であった。

特に、市場での食肉の扱いや、果物などの生鮮食品が山積みで売られている様子に驚きを隠せない子どもたち。バイクの荷台に縛り付けられて運ばれる豚や、竹の籠に囲われ隙間から首を出している鶏、台に塊で並べられている食肉の様子を見て、「食べることは、いったいどういうことか」という根源的なものに直面する児童もいた。

一方で、フォーや赤飯など、日本の食べ物と似ているものを見つけて「どこにもあるんだね」と安心した顔も見られた。

バイクだらけの町の交通事情や、建物の建設現場の簡易さなどから、「貧しい国」という印象がやはりぬぐえない様子。調べていくうちに「豊かさ」の定義がシフトすることを願いたくなった。

<世界の食文化を調べよう・食文化発表会>

ベトナムの食材や市場の様子、レストランの料理などから、自分で興味を持ったことを広げ、調べたい国の食べ物を中心に調べ活動をおこなった。

児童は、ベトナムの学習から、主食、特徴的な料理、デザート、食習慣などに目を向け、思い思いの調べ学習に取り組んだ。

主なテーマは次の通りである。

- ・ベトナム（米文化について・料理の概要・デザート・調味料）
- ・タイ（米・カレー・魚料理）
- ・アルゼンチン（主食・代表料理・お菓子）
- ・イギリス（朝食・アフタヌーンティー・ローストビーフ）
- ・エジプト（米料理・肉料理・お菓子・野菜料理・スープ）
- ・イタリア（パスタの種類・ソースの種類）
- ・アメリカのおやつ
- ・韓国（衣装・食文化・お勧め料理）

これらのことを調べていく中で、お互いに情報交換などがおこなわれ、「どこの国にも、国にあった食べ方があること」「国は違っても、似ている料理があること」などの気づきが生まれていった。

発表会では、個人・グループで調べたことを発表したが、さまざまな地域についていろいろな視点で調べたことが一同に集まることで、まるで世界旅行をしているかのような感じがした、という感想があがった。

<インターナショナルパーティーをしよう>

諸外国の食文化を調べていくうちに、「実際に料理を食べてみたい」「外国の人に会ってみたい」という声上がり、外国の方を招いてお話を聞いたり、料理を習って作ったりする会を計画することにした。

講師にはボランティアで来て頂ける身近な方を探すことになり、本校のALT（フィリピン）、ALTの友人である市内の元ALT（インド）、児童の保護者（中国）、地域に住む外国の方（韓国）の4名に来ていただいた。この韓国の方は、教師の「外国の人で知っている人いないかな？」との問いかけに答えたクラスの児童の情報でお招きすることになり、子どもたちにとって外国を身

近に感じる体験となった。

準備として、希望する国のグループわけをし、講師の名前と自分たちの名前をローマ字で書きネームカードを作った。国旗も手作りし、地図を用意した。

時間の都合が合う保護者にも協力していただき、13名のお母さんが集まった。

当日は、まず1時間で各国の紹介をしていただいた。民族衣装や暮らしの習慣などを教えてもらった後、いよいよグループごとに料理を教わる場面となり、とりかかった。フィリピンではバナナは野菜としてスープに入れること、中国では餃子は皮から作るのが普通だということ、インドでは箱入りの「カレールー」を使わないでカレーを作ることなど、驚きの連続でありながら、言葉が通じないながらも一生懸命理解しようとする子どもたちの姿をみることができた。

また、インド人ゲストのお母さんが、余った小麦粉でチャパティを作り始め、子どもたちはその手際よさと、粉からあつという間にインドのパンができていく様子に感嘆の声を上げていた。

にぎやかな中で、いろいろな料理ができ、会食。食べたことがない味にまた驚き、言葉が通じなくても笑顔ですごく素晴らしい時間となった。

実践を振り返って

この活動を通じて、「ニュースなどで外国の話題に興味を持つようになった」「もっと他の国の人と友達になりたい」という感想が子どもたちから多くあげられた。授業をする者がベトナムで実際に肌で感じてきたことを伝えたことで、外国との垣根が低く感じられたのが大きなきっかけとなったと思われる。

反省点としては、年度当初の計画ではなかったため、講師の手配や活動全体の計画に苦慮したことが挙げられる。

また、子どもの中には「ベトナムはやはり貧しい国だと思う」といった反応も見られた。小学3年生では国の歴史などの背景をつかませるのは難しいが、「豊かさ」への価値観の多様性を持たせるような工夫が必要であったと思われる。

今後は、大きな単元としてだけでなく、掲示物や放送など、日常の生活にしみこませていく手立てを工夫することも必要だと感じている。

資料 ～活動場面の写真～

<p>食文化発表会のようす</p> 	<p>サリーは長い布なんだ</p> 
	<p>中国の正月名物爆竹</p> 
	<p>「餃子の皮も小麦粉で作れるんですよ」</p> 

平成 17 年度 教師海外研修（派遣国：ベトナム）実践報告書

船橋市立八木が谷小学校
山下 亮

タイトル ダカウのふるさとベトナム
 実践教科名 総合的な学習の時間
 実践時間数 3年生4クラス 16時間
 6年生3クラス 12時間
 対象生徒（学年）3年生4クラス 6年生3クラス
 対象人数 3年生122人 6年生114人 計236人

カリキュラム案

(1)実践の目的

総合的な学習の時間が導入されてから、国際理解教育を目的にした授業の実践は増えてきているといえるが、その中身は、料理やファッションなど異文化を強調し、イベント的に扱う外国理解のための学習であることも多い。また、最近では、英語教育に時間を費やし、課題解決的に学習をすすめていくべき国際理解教育をカリキュラムに入れている学校が少なくなっている傾向もある。私は、今回の研修を生かして、「ベトナムを教える」のではなく、「ベトナムを通して」子どもたちが国や民族を越えた共通性や普遍性に気づき、課題意識を持つようになることを目的に授業を計画し、実践した。計画にあたっては、無理なく、誰でも実践が可能なプラン作りを念頭においた。

(2)授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材・資料
1時間目 「ダカウ」っておもしろい!? 1つの物から発想をふくらませ、遊ぶ楽しさの共通性に気づく。	○ダカウで自由に遊ぶ。 ○いろいろな遊び方を考える。 ○遊び方を紹介し合う。	・ダカウ (20個) ・バドミントンの羽根 ・ワークシート①
「ダカウ」って何だろう? ベトナムの国や人に興味を持つ。	○ダカウについて知る。	・VTR、写真 ・ダカウ ワークシート①
2時間目 「ダカウ」のふるさとベトナムコミュニケーションを図りながら、想像力をはたらかせる。	○ベトナムクイズをする。 ○フォトランゲージをする。 ○写真について考える。	・ノート PC、プロジェクター、VTR、地図等 ・半裁の写真 (32人分)
3時間目 もっと知りたいことは何? 自分たちとの共通点や相異点に気づき、視野を広げようとする。	○写真について紹介し合う。 ○調べたい課題を決める。	・写真とワークシート ・実物投影機 (OHC)
4時間目～ (次の単元学習へ) 3年生「世界の遊びを楽しもう」 6年生「わたしたちの未来 2036」	○調べてみよう。 ○やってみよう。	

授業の実際

第1時「ダカウ」っておもしろい!?

1. ねらい

- ・固定概念にとらわれず、1つのものから体験を通して発想をふくらませる。
- ・世界の共通性に気づき、視野を広げようとする。
- ・ベトナムという国やそこに住む人たちに、関心を持つことができる。

2. 展開（体育館→教室）

教師の発問と働きかけ	子どもたちの活動
1. 「この中に何が入っているでしょう。」 「触ってみてごらん」 ・Black Box を用意し、期待を持たせる。	・ボックスの中をさわり、考える。
2. 「これは、何だろう？」 「何に使うものかな？」	・中に入っているものをみて、考える。 ・遊びに使うもの？
3. 「班で遊びを考えてみよう。」 「今から、これを使って班で遊んでいいですよ」	・4人グループで遊びを考える。 ・お互いのアイデアを生かし、仲良く遊ぶ。
4. 「どんな遊び方をしましたか。」 「遊んでみて、どうでしたか。」	・様々な遊び方がありそうなことに気づく。 ・遊び方を考えて、グループで遊ぶ。
5. 「これは、ダカウといいます。」	・ダカウという名前を覚える。
6. 「どこの国のものでしょう。」 「これは、ベトナムという国のものです。」	・世界地図を広げ、知っている国名を言う。 ・ベトナムで人々がダカウをする様子を見る。
7. 「今からベトナムの人たちがダカウをしているようすをみせましょう。」 ・ベトナムの場所を示し、ビデオをみせる。	・VTR をみる。 （ベトナムでダカウをしている人々のようす）
8. 「今日の感想とベトナムの人たちに聞いてみたいことがあったら書いてください。」 「ダカウって、おもしろい!？」	・ワークシート①に本時の感想とベトナムの人に聞いてみたいことを書く。

3. 授業の評価と子どもたちの様子

本時の評価は、①子どもたちがダカウについて関心を持って考えたり遊んだりしていたかということ。②1つのものでも遊び方がいろいろあり、楽しみは一緒であることに気づいていたかということ。③ダカウを通して、知らなかったベトナムという国に関心が持てるようになったかということ。以上の3つから、判断した。

①については、ダカウの形や当てるとよく飛ぶという特性を生かして、次々に遊び方を考え、全てのグループが遊び作りを楽しんでいた。②については、他のグループが考えた遊びも体験し、共有できた。VTR でベトナムの遊び方を知り、さらに興味が増してきたようだ。③については、ワークシート①を使用することにより、自分の気持ちの変化に気づき、次時につなげることができた。

その後、カゴに入れて貸し出しをすると、休み時間にダカウを使って遊ぶクラスが増え、全校の子どもたちにも広がりが出てきた。

第2時「ダカウ」のふるさとベトナム ～似ていることと違うこと～

1. ねらい

- ・「ベトナムクイズ」から、ベトナムやそこに住む人たちに、関心を持つことができる。
- ・「フォトランゲージ」でコミュニケーションを図りながら、想像力をはたらかせる。
- ・自分たちとの共通点や相異点に気づき、視野を広げようとする。

2. 展開

子どもたちの活動	留意点・支援と評価◆
1. 「ベトナムクイズ」をする。 ①位置 ②国旗 ③食べ物 ④言葉 ⑤先生 ⑥子ども ⑦遊び ⑧お金 ⑨交通 ⑩くらし他	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズ形式のスライドでベトナムを紹介しながら、子どもたちに興味を持たせる。 【資料1】 ・補足説明し、共通点や相異点に気づく視点を持たせる。・実物もまじえる（傘、帽子、国旗、お金など）。
2. 「フォトランゲージ」を取り入れたアクティビティーをする。 (ゲームの方法) 人にみせない。 話をしない (シンチャオとカムオンのみ)。 1対1で見せ合う。 合ったら、報告。(話し合う) 説明カードに記入(予想)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの方法を理解させ、だれとでも自分から関わろうとする気持ちにさせる。
3. 自分たちの写真について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分から友達との関わりを持とうとしているか。 ◆写真をよく観察し、状況を想像することができるか。 ・わからない子には、予想する視点を助言する。 ・「同じ」と「違い」の視点。 ・今回は、1組か2組にし、次回に全員行う。 ・ワークシート②に本時で思ったことをまとめる。
4. ベトナムやベトナム人と自分たちの似ていること、違うことについて思ったことをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ◆似ていることと違うことの視点を持つことができたか。

3. 評価と子どもたちの様子

「ベトナムクイズ」は、パワーポイント【資料1】を作成し、期待を持たせる画面構成にした。正解を発表するときに実物をみせたり、関連した知識を説明し、関心を高めたりして「似ている・ちがう」の視点を持たせるように工夫した。

「フォトランゲージ」は、2つに切られた写真の相手を探すことにより、写真をよくみる必要もでき、楽しんでアクティビティーができた。どの子とも自分からコミュニケーションを図りながら、仲よく学習しようとする態度が大切になるが、各クラスとも子どもたちは協力し合って活動できた。

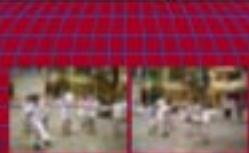
出会った子と1枚の写真について考える活動は、学年段階によって、出てくる予想が異なり、興味深い。3年生では、自分たちの生活に身近な内容を思い出し、高学年は社会的な状況に気づく子どもも多くいた。予想で出てくる内容は、その子たちの興味や関心がどこにあるかを知る手だてにもなるので、その後の発表でも大事に扱った。

第3時以降

前時の写真について、紹介し合い、みんなで考えた。知りたい欲求が強くなった所で教師が情報を提供したり、本やインターネットで調べさせたりした。自分たちの写真に限定しないで、これから調べたい課題を各自に持たせ、意欲的に活動している。

資料

【資料1】「ベトナムクイズ」のパワーポイント

<p>ベトナムクイズ</p> <p>3問2種のみなさん がんばってください</p> 	<p>Q.1 ベトナムは、どこにあるでしょう</p> 	<p>正解 ①アジア</p> 	<p>Q.2 アジアのどこにあるでしょう</p> 
<p>正解 ②</p> 	<p>Q.3 ベトナムの国旗はどれでしょう</p> <p>① ② ③</p> 	<p>正解 ③</p> <p>① ② ③</p>  <p>インド 中国 ベトナム</p>	
<p>Q.4 ベトナム料理は、どちらでしょう</p> <p>① ②</p> 	<p>正解 ②</p> 	<p>ベトナムは、米作りがさかん</p> 	
<p>Q.5 ベトナムの祝日は、どれでしょう</p> <p>① 先生の日 ② 母の日 ③ 子どもの日</p>	<p>正解 ① 先生の日</p>	<p>11月20日は、 先生の日(祝日)</p> 	
<p>Q.6 ベトナム語で「おはよう」は?</p> <p>① ニーハオ ② シンチャオ ③ サワディー</p>	<p>正解 ② シンチャオ</p>	<p>朝礼も夜礼「シンチャオ」</p> 	<p>Q.7 家族で出かけるときや 通勤のときによく使う乗り物は?</p> <p>① バス ② オートバイ ③ 自転車</p>
<p>正解 ② オートバイ/バイク</p> 		<p>Q.8 ベトナムのお金の単位は、 なんというでしょう?</p> <p>① ドン ② ドル ③ ウォン</p>	<p>正解 ① ドン</p> 
<p>Q.9 ベトナムで子どもたちに 一番人気があるのは?</p> <p>① ムシキング ② ポケットモンスター ③ ドラえもん</p>	<p>正解 ③ ドラえもん</p> 		<p>Q.10. ダクワは、どれでしょう?</p> <p>① ② ③</p> 
<p>正解 ③</p> 	<p>http://www.tv-asahi.co.jp/doraemon/</p> 	<p>何問できましたか?</p> <p>これでベトナムクイズは、 お・し・ま・い</p>	

【資料2】ワークシート (①~④)

①「ダカウっておもしろい!？」
 3年 組 _____
 今日、思ったことを書きましょう。
 1. はじめにみたとき

 2. あそんだとき

 3. ビデオをみたとき

 4. ベトナムの人にきいてみたいことがありますか。

③ 写真はここに↓ 名前 ()
 ()

 この写真について、どんな場面か予想してみよう!
 この写真は、たぶん…

②「ダカウのふるさとベトナム」
 3年 組 _____
 ベトナムクイズ 10問にちょうせん

第1問		第6問	
第2問		第7問	
第3問		第8問	
第4問		第9問	
第5問		第10問	

今日のふりかえり
 ベトナムの人たちやベトナムのくらしで、わたしたちと似ているところ、ちがうところは、どんなところでしょう。
 (1) にていると思ったこと

 (2) ちがうと思ったこと

④「もっと知りたいことは何？」
 年 組 _____
 自分の写真について

 友だちの写真について

 調べてみたいテーマ

 (たぶん似ていると思う所)
 (たぶんちがうと思う所)
 (調べ方)